

日本道路
執行役員関西支店長

いしかわ せいいち
石川 誠一氏

支店長



環境技術や工法を武器に

前職の東北支店長時代から「い」と気を引き締める。職員に意識付けてきたのが「安全、品質、環境にこだわりの実行に移す」こと。多くの工事を抱える関西支店でもこの3項目の実践を通じて「顧客との信頼関係を築き、受注拡大と利益の確保につなげた」。

環境技術や工法、製品は大きな武器になる」と強調。東北支店時代に多くの施工実績があり「官民を問わず環境工法を前面に押し出し、差別化を図っていく」考えだ。

「現状維持が最大のリスク」。これは常々意識している言葉だ。「現状に満足してはさらなる前進はない」。職員にも「今の状況を打破するために何をすべきかを考え、自ら行動してほしい」と呼び掛けている。

趣味は体を動かすこと。今は10年前に始めたキックボクシングにはまっている。

脱炭素化に対する世間の意識が高まる中で「二酸化炭素(CO₂)の排出量を抑える」。

（4月1日就任。金沢工業大学工学部土木工学科卒。富山県出身、54歳）